

# 令和4(2022)年度 卒業生アンケート調査報告書

## 1. 目的

卒業生にアンケート調査を行い、本学の教育改善を図るための参考資料として活用する。

## 2. 方法

- 1) 調査期間：令和5(2023)年3月3日(金)～令和5(2023)年4月28日(金)
- 2) 調査対象：令和2年度及び令和3年度卒業生(在籍時のメールアドレスに依頼文を送信)
- 3) 回答方法：Google フォームによる回答
- 4) 設問内容：別紙2参照
- 5) 集計数：依頼127人中10人回答 回答率8%

## 3. 集計結果

### 1) 設問1 基本情報について

項目①あなたの卒業年度について伺います。

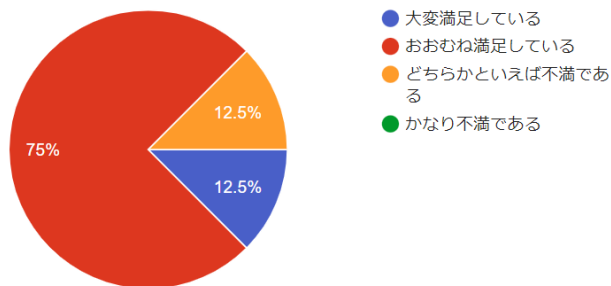
- …令和2年度卒業(令和3年3月卒業) 6人
- …令和3年度卒業(令和4年3月卒業) 4人

項目②現在の就業状況について伺います。

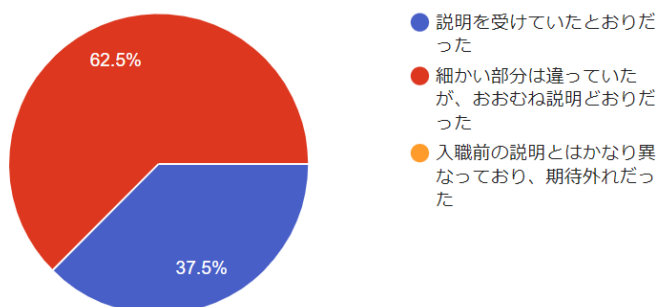
- …正規職員(フルタイム勤務) 8人
- …進学 2人 → 進学回答者は最後の設問へ

### 2) 設問2 あなたが勤務されている職場状況について伺います。

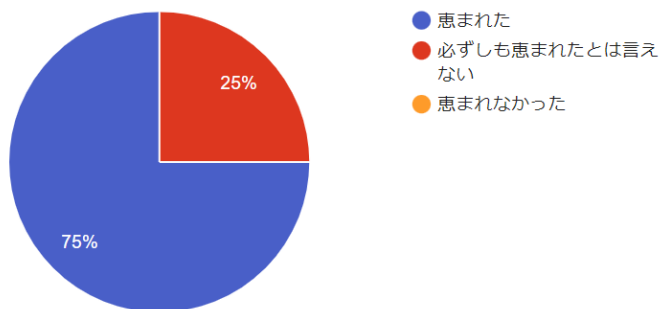
項目①あなたは職場で受けた(現在も受けている)「新人研修プログラム」に満足していますか。



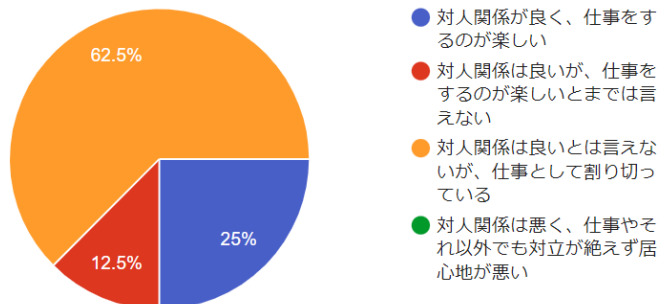
項目②就活時に説明を受けていた新人研修プログラムと、入社してから実際に受けた新人研修プログラムを比べてみてどうでしたか。



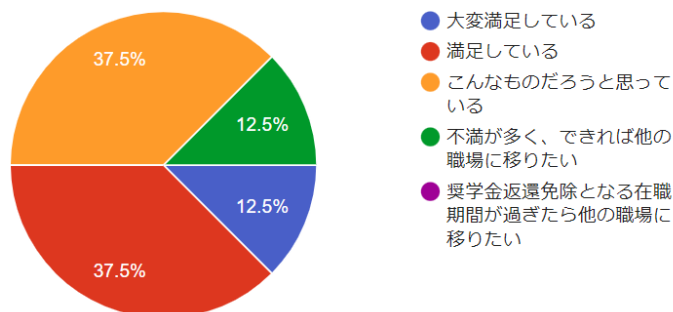
項目③教育・相談・支援を担当してくれる先輩看護職員に恵まれたとお考えですか。



項目④あなたが勤務している職場（病棟等）の対人関係や雰囲気等について伺います。



項目⑤現在の職場についての感想をお伺いします。

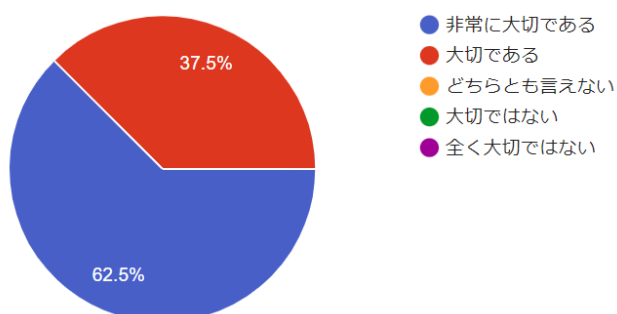


項目⑥職場を決めるに際して、先輩として在學生に伝えたいことがありましたらご記入ください。

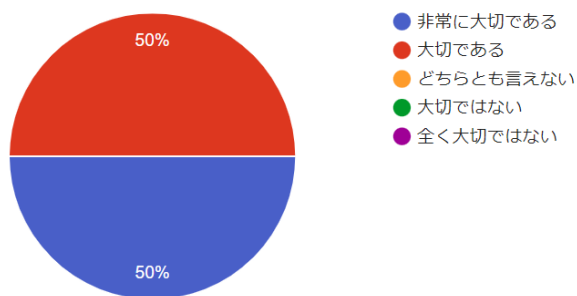
- ・対人関係の雰囲気を大切にして欲しい。
- ・様々な病院の見学に行き、雰囲気や働き方等を見たほうがいい。福利厚生だけで選ばないで自分にとって働きやすいのか見てきたほうがいい

3) 設問 3 本学 DP は、現在の仕事や自分自身にどの程度大切であると感じていますか。

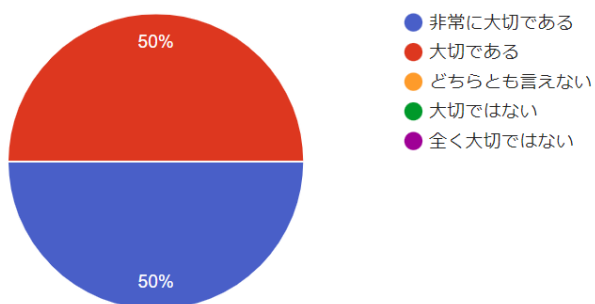
項目①人間力：周囲の人々とコミュニケーションを通して理解し合い、共感し合い、協働することができる。



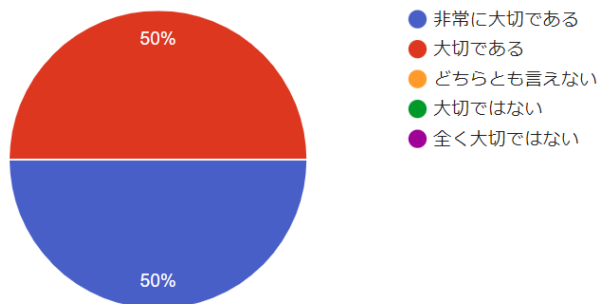
項目②ケア・スピリット：相手の人生にとっての最善を目指して、自ら進んでケアに向かう姿勢を発揮できる。



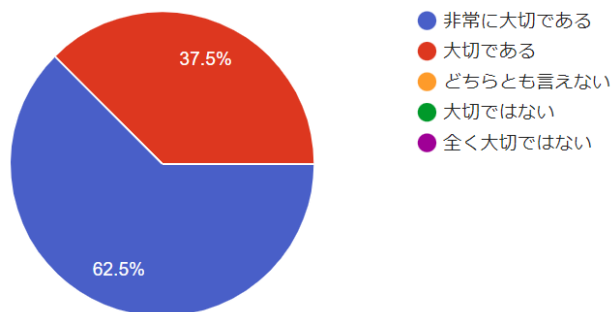
項目③人間の実践的理解：ケアの相手の意向・気持ち・状況把握を共感的に理解しようと努めることができる。



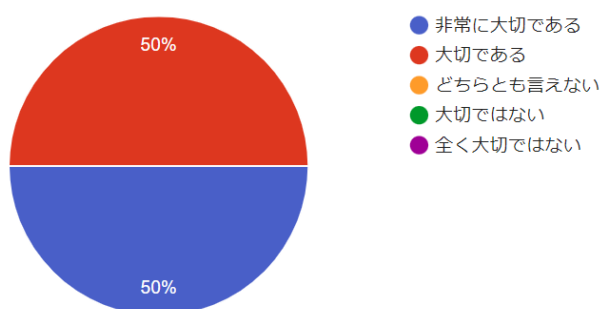
項目④専門的知識・技術とその臨床実践：看護ケアに必要なコアとなる専門的知識・技術を備え、臨床の場での、具体的な対応に活かすことができる。



項目⑤多職種連携・チームワーク：チームメンバーや多職種のケア従事者たちと連携・協働することができる。



項目⑥アドボカシー：ケアの相手の側に立って、そのよい人生のために支援し、必要に応じて代弁ができる。

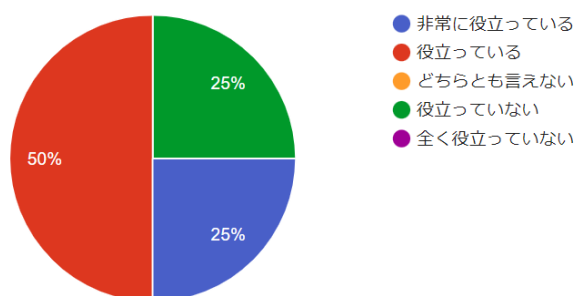


項目⑦本学在学中に学びたかった分野などがありましたらご記入ください。

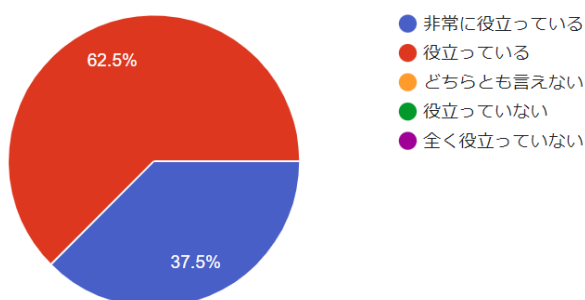
- ・看護技術で点滴の作り方と摘便の方法を知りたかった。
- ・重度心身障害児についてより詳しく学びたかった。

4) 設問 4 大学時代の教育は、現在の仕事や自分自身にどの程度役に立っていると感じていますか。

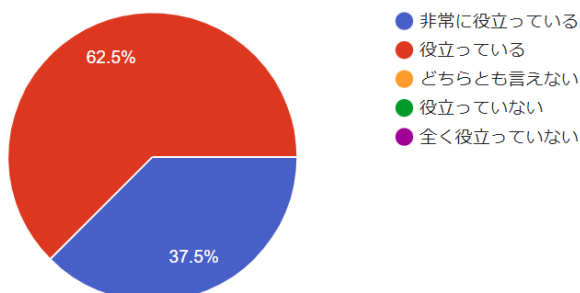
項目①基礎分野（一般教養科目、情報処理科目、言語科目等）



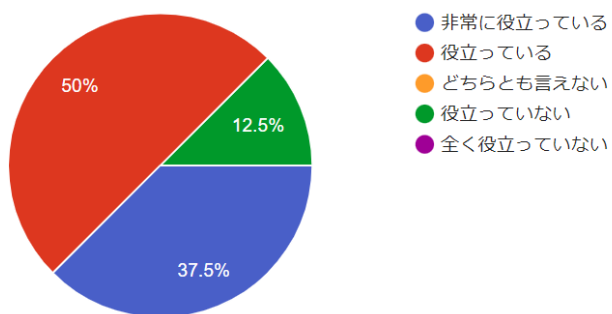
項目②専門基礎分野（人体の構造や機能・病態疾病論・保健統計学等）



項目③専門分野（看護に関する科目全般）



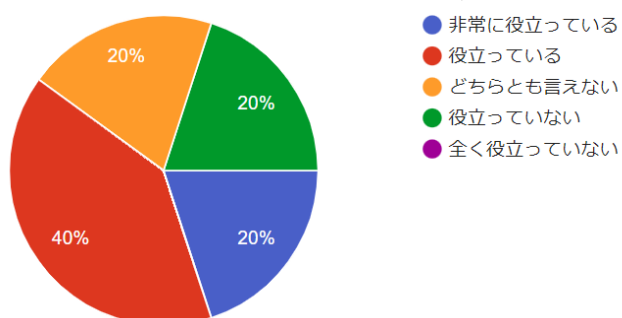
項目④統合分野（卒業研究・総合看護学実習等）



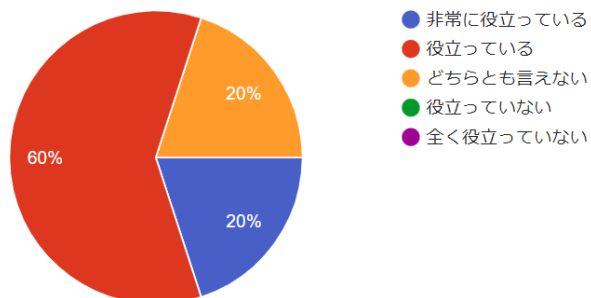
5) 設問5 大学時代の保健師教育は、自分自身にどの程度役に立っていると感じていますか。

※保健師として勤務されている方のみご回答願います

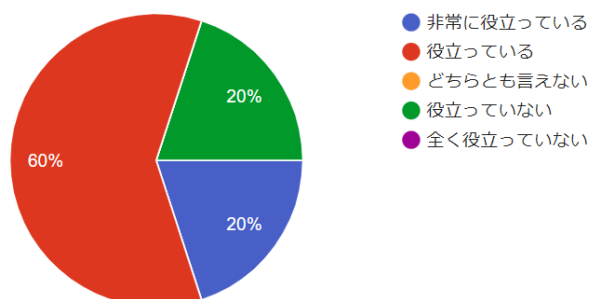
項目①地域の健康問題の明確化と解決・改善策の計画・立案



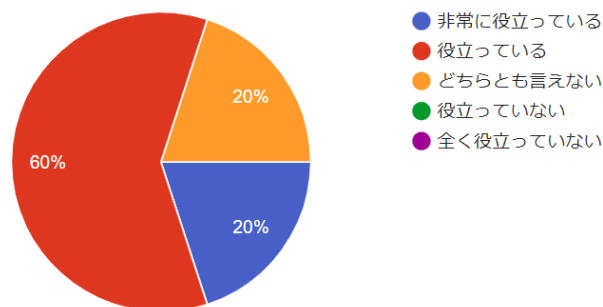
項目②地域の健康増進能力を高めるための個人・家族・集団・組織に対する継続的支援



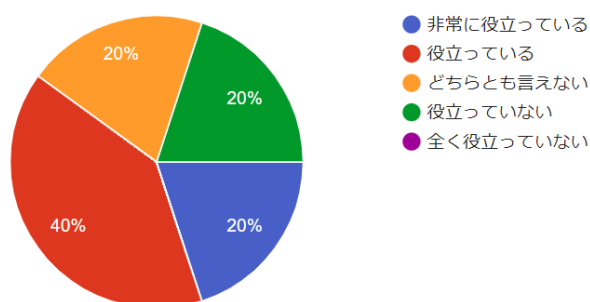
項目③地域の人々・関係者・関係機関との協働



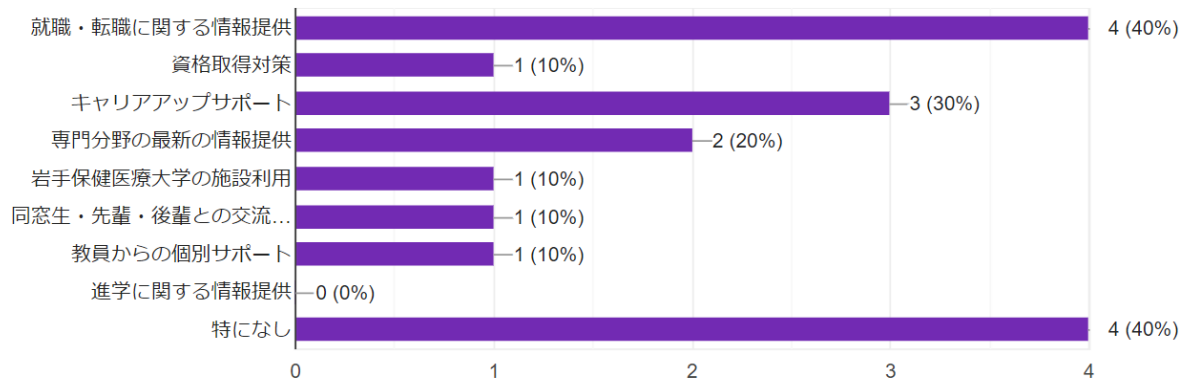
項目④地域の人々の健康を保証するための平時・発生時・回復時における健康危機管理



項目⑤地域の健康水準を高めるための事業化・施策化・社会資源の開発・システム化



6) 設問 6 卒業生に対する支援として、本学に期待することは何ですか。



7) 設問 7 教育や進路、就職支援を含め岩手保健医療大学への要望がありましたら自由にご記入願います。

・記載なし。

4. 総評

- ・本学 DP や各種学修内容は、就職先における業務に概ね役立っているとの回答が多く見られた。しかしながら、回答数が少ないため集計内容として有意性を得られているとは言えない。
- ・今後は回答率を上げるため、アンケート方法や依頼時期について検討を行う。